



東頸中学校だより

— 自律 寛容 挑戦 —

き ぼ う

重点目標

- (1) 自ら学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む授業の充実
- (2) 豊かな心と主体的に生きる力を育てる特別活動・部活動の充実
- (3) 将来の生き方を考えさせる体験活動の充実
- (4) 地域とともに歩む学校の実現に向けた、家庭や地域との連携強化



令和7年2月20日

「スプリングエフェメラルーカタクリの花ー」 2月全校朝会 校長講話

フクジュソウやカタクリなど春の間に短い時間だけ咲く花々、スプリングエフェメラルについての話です。これらの花は、春になると木々の葉が生い茂る前に、2か月ほどの短い時間だけで葉を広げ成長し咲く花です。木々の葉が生い茂るようになると日が当たらなくなるので葉は枯れてしまいます。春のほんのわずかな期間にしか見ることはできませんので、「スプリングエフェメラル＝春の儚い命」と呼ばれています。

ところが、実はとてもたくましい植物です。カタクリの種子はゴマ粒くらいの大きさです。発芽1年目は松の葉のような細い糸状の葉をつけて、その細い葉で光合成をし、小さな鱗茎（玉ねぎのようなもの）を作ります。夏になると地表の葉は枯れて、鱗茎だけでじっと春を待ちます。2年目の春になると鱗茎から小さな楕円形の1枚の葉を作ります。そして、光合成で養分を作り鱗茎に貯めていきます。夏以降は休眠。3年目はちょっと大きな葉をつけ、またまた2か月で葉は枯れて春を待つ。毎年少しずつ鱗茎に養分を蓄え、少しずつ大きな葉を作っていきます。葉を2枚出せるようになるには6年から7年かかります。そして、早くて7、8年をかけてようやく花をつけることができます。その頃になると鱗茎には十分に養分が蓄えられていて、カタクリの寿命は40から50年ともいわれています。かつてはこの鱗茎を掘り出し良質なでんぷんである片栗粉を作っていました。

さて、このスプリングエフェメラルという言葉が示しているのは、短い期間に全力を尽くして成長することの素晴らしさであったり、花を咲かせるために時間をかけてコツコツと準備する大切さであったりと思うのです。7、8年という長い期間をかけて花を咲かせるカタクリのように、何か成し遂げるには時間がかかるものです。私たちも焦らずに、しっかりと自分の基礎を固め、目標に向かって一步一步進んでいくことが大切だと一つの花から教えてもらっている感じがします。短期間で目に見える結果が出なくても、その過程があつてこそ、後に大きな成果を得ることができると思っています。

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」シドニー五輪マラソンで日本人初の金メダリスト、高橋尚子さんが高校時代の恩師から送られ、座右の銘として大切にされてきた言葉だそうです。参考にしてください。

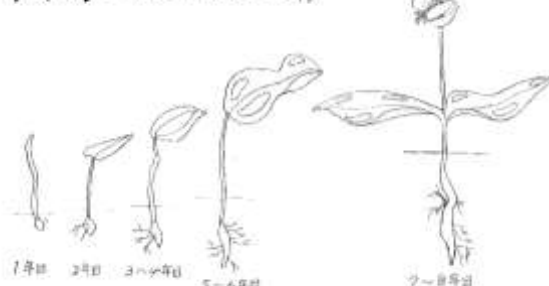
フクジュソウ



カタクリ



カタクリの成長（寿命40～50年）



■マイ・タイムライン授業

1月17日（金）にマイ・タイムライン教室を行いました。

マイ・タイムラインとは、水害・土砂災害に備えて、前もってとるべき行動を時間後と整理した「自分の避難行動計画」です。

大島区での川の水位が上がった状況を確認した時には、生徒からは身の回りでも起こりうることで危機感を示していました。

災害発生時の『逃げ遅れゼロ』を目的に、自分の命を自分で守り、率先して安全を確保するための行動ができることを目標に行いました。住んでいる地域によって、起こりやすい災害は様々でした。各地区のハザードマップを活用して、同じ町内の生徒同士で相談しマイ・タイムラインの完成させていました。東頸中学校の生徒が率先避難者となるように日々学んでいきましょう。



■1, 2年スキー授業

1月24日（金）にキューピットバレイスキー場を会場にスキー授業を行いました。雨にも負けずにスキー授業を実施することができました。

地域の大人の方とコミュニケーションを図りながらスキーを丁寧に教えていただきました。生徒は、スキー技能の向上以上に、スキーの楽しさを味わうことができました。



■3月の予定

1	土		17	月	預り金振替日
2	日		18	火	
3	月		19	水	
4	火		20	木	
5	水	公立学力検査	21	金	3 学期終業式
6	木	公立学校独自検査	22	土	春休み（4月7日まで）
7	金	卒業証書授与式	23	日	
8	土		24	月	
9	日		25	火	離任式
10	月		26	水	
11	火		27	木	預り金再振替日
12	水		28	金	
13	木	全校朝会	29	土	
14	金	専門委員会	30	日	
15	土		31	月	
16	日				

上越市立東頸中学校 〒942-0314 上越市浦川原区頸聖寺350番地

Tel 025-599-2230 Fax 025-599-3960

【緊急連絡】080-7189-0470

URL <https://www.tokei.jorne.ed.jp/>



QR コード→